

産業



資源を活かし、新たな価値を創出するまち



- ▶ 新たなチャレンジを後押しするまちを目指します。
- ▶ 豊かな資源を守り、育て、活用しながら未来へつなぐまちを目指します。

- 農業・水産業の活性化
- 地域経済の活性化
- 地域の賑わいづくり
- 島の振興

2025



2029

定住・移住・仕事

安全・安心

子育て

教育

健康・福祉

市民協働

環境

都市

産業

行財政



▶ 生産に必要な産業基盤が維持、構築され、農水産物が安定供給されることにより、生産者の所得が向上している

現状



- ▶ 豊かな自然に恵まれ、古来より農業、水産業が営まれており、自然環境や景観の保全、防災や世界遺産の継承など多面的な機能を有していますが、就業者の減少と高齢化が進行しています。
- ▶ 高収益作物増や高付加価値化に向けたブランド化の取り組み、地域の生産者と消費者をつなぐ地産地消の取り組みを進めています。また、市内外への販路の拡大にも取り組んでいます。
- ▶ 温暖化による気候変動など、農業や水産業を取り巻く環境は変化しています。農業分野では、病害虫や有害鳥獣による作物被害、長雨や高温による生育不良など、作物の生産に悪影響を与える要因が増えています。また、水産業分野では、漁場環境の変化や水産資源の管理といった水産物が安定して供給されるための取り組みが求められています。

課題



- ▶ デジタル活用による効率化や集約化など、生産効率向上を進めながら、多様な担い手による就業者の確保が必要です。また、儲かる産業としての魅力向上につながる取り組みも必要です。
- ▶ 加工品製造の強化や販路拡大・安定供給を進めるため、設備投資と高付加価値化の取り組みが必要です。また、これまで以上に地産地消を促進するための取り組みが必要です。さらに、これまでの販路に捉われない販売先の開拓や輸送手段の検討が必要です。
- ▶ 農業、水産業分野ともに、日々変化する自然環境に対応するため、被害を抑止する物理的・技術的な取り組みの実施が課題です。



主な取り組み

- 新規就農者及び新規漁業就業者などの担い手に対しての支援体制の構築
- 遊休農地の解消や老朽化する施設・設備の維持補強の推進
- 環境の変化に応じた新たな栽培技術の導入支援や養殖事業の検討といった、新たな資源の確保への取り組み
- 付加価値のある品目の栽培強化や、漁協での加工販売など農林水産物の高付加価値化
- 設備投資や海業への取り組みの推進による新たな販路開拓
- ふるさと納税を活用した事業者支援



田園風景



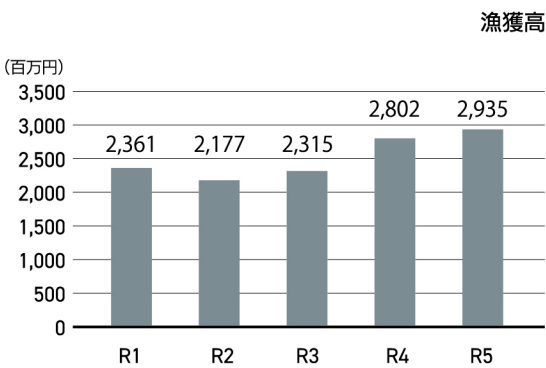
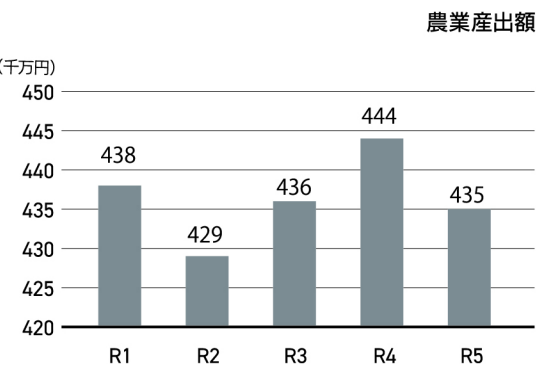
わかめの素潜り漁



成果指標 (KPI)

指標名	現状	中間目標 (R11 年度)	最終目標 (R16 年度)
農業産出額	435 千万円	452 千万円	452 千万円
漁獲高	2,935 百万円	3,482 百万円	3,945 百万円
ふるさと寄附額	130 千万円	200 千万円	200 千万円

〈関連する計画〉 #産業振興計画 #農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想



地域経済の活性化



目指す姿

- ▶ 創業者の創出や新しい価値を提供する企業の誘致を推進することで、まちの賑わいが維持されている
- ▶ 事業者の新たなチャレンジなどにより商工業における生産性が向上している

現状



- ▶ 市内商工業者数は平成28年から減少傾向にあり、近年は特に経営者の高齢化や後継者の不在、コロナ発生時の借入による債務超過などによる廃業が増加しています。
- ▶ 市内総生産は、平成29年をピークに減少しており、コロナ禍における卸業・小売業、飲食・宿泊業の落ち込みは大きく、市内産業全体に停滞感がみられます。
- ▶ 物価高騰や人件費の高騰、人手不足などの社会的な変化への対応が遅れ、経営環境が悪化しています。

課題



- ▶ 創業、事業承継に向けた支援を充実させる必要があります。また、雇用と新たな価値を創出する企業を誘致する必要があります。
- ▶ 市内の事業所が事業や販路の拡大、新商品の開発、商品・サービスの高付加価値化など、自ら取り組む機運や環境を整え、稼ぐ力を向上させる必要があります。
- ▶ デジタル化・自動化などを進め、社会の変化や多様化する消費ニーズに対応していく経営環境や人材育成を強化・推進していく必要があります。



主な取り組み

- 創業相談、創業スクールなどの創業支援に加え、民間インキュベーション施設を活用した事業者ネットワークづくりなどの支援
- 移住や創業を考える次世代につなぐ事業承継の支援
- デジタル化や人材不足などの様々な経営課題の解消や経営力の向上に向けた支援制度の充実
- 事業拡大、生産性向上、IT力強化など事業者の新たなチャレンジを後押しする支援の充実
- 新たな産業を興すための企業連携、企業誘致
- ふるさと納税を活用した事業者支援



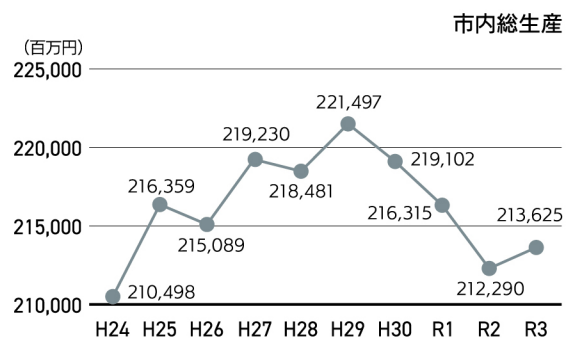
むなかたビジネス交流会の様子



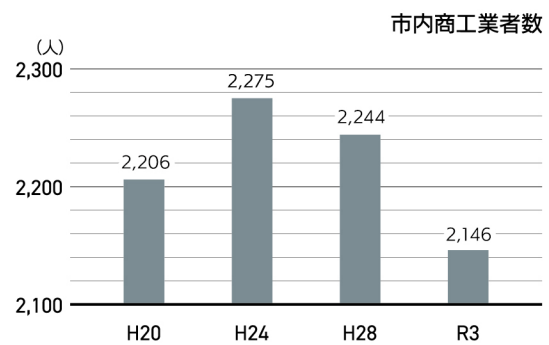
成果指標 (KPI)

指標名	現状	中間目標 (R11 年度)	最終目標 (R16 年度)
市内総生産 (卸売・小売業)	19,920 百万円	21,000 百万円	22,000 百万円
創業者数 (累計)	46 件	200 件	400 件

〈関連する計画〉 #産業振興計画 #創業支援等事業計画



出典：福岡県民経済計算・市町村民経済計算（令和3年度）



出典：経済センサス活動調査

地域の賑わいづくり



- ▶ 魅力ある観光資源を生かした旅行商品の充実により、多くの観光客が訪れ賑わっている
- ▶ 市内での周遊や宿泊、新たな観光需要の取り込みなどにより、観光消費が伸びている

現状

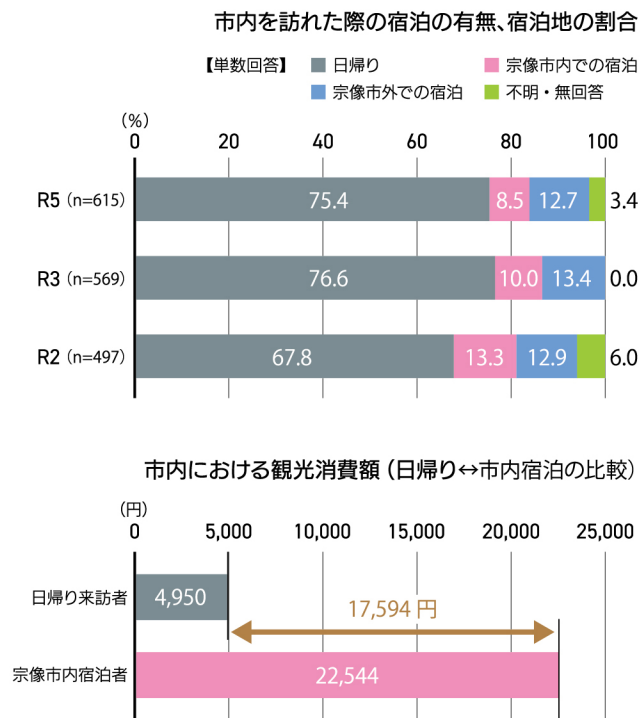
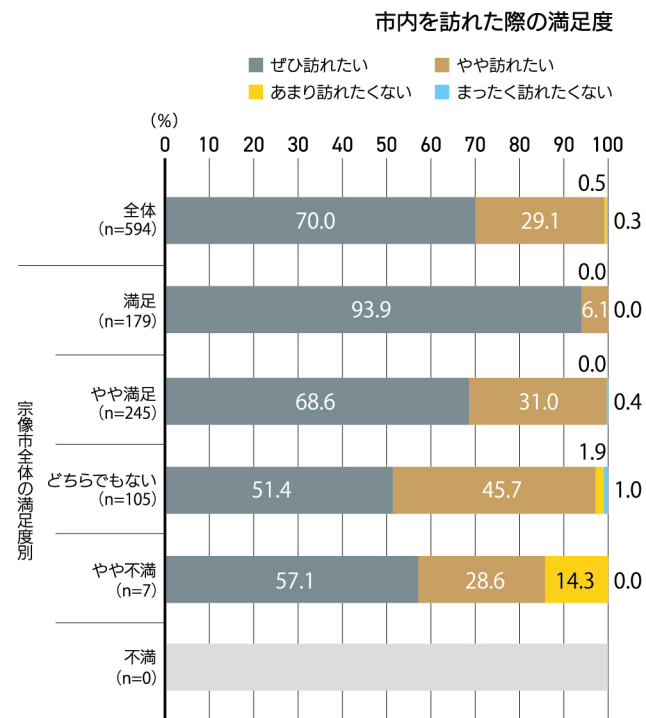


- ▶ 魅力ある観光資源を多数有しており、来訪者の満足度は高い状況です。
- ▶ 観光客のうち宿泊をしない日帰り客が多くを占めており、観光客の市内滞在時間が少ない傾向にあります。
- ▶ 福岡県における外国人観光客数は増加していますが、本市では増加していない状況です。
- ▶ 観光客の多様なニーズに応えるため、市と観光協会連携してSNS発信などに力を入れており、フォロワーの獲得やアクセス件数の増加がみられます。

課題



- ▶ DMOなどと連携し、観光資源を組み合わせた旅行商品の開発やプロモーションを実施するなど積極的に誘客を図っていく必要があります。
- ▶ 周遊に必要な二次交通が弱い状況です。また、体験プログラムなどの旅行商品の充実、広域での連携など、滞在時間の延長や消費行動へつなげる取り組みが必要です。
- ▶ 多言語対応やキャッシュレス決済の拡大など、さらなる環境整備が必要です。また、ホスピタリティ向上に向けた人材育成など、受け入れ体制の強化が求められています。
- ▶ 市内の観光情報について一元化を図り、ターゲットを絞った効果的な情報発信が必要です。



主な取り組み

- DMOを中心とした関係事業者との連携強化
- 旅行商品の開発及び販売
- 多言語対応やキャッシュレス決済の拡大、ホスピタリティ向上などの事業者の受け入れ態勢強化のための支援
- 二次交通対策と市内周遊性の向上
- 広域連携による訴求力、発信力の強化



赤間宿まつり



観光ステーション「むなたびらボ」



成果指標 (KPI)

指標名	現状	中間目標 (R11 年度)	最終目標 (R16 年度)
観光入込客数	4,594 千人	4,840 千人	5,081 千人
観光消費額	6,497 百万円	7,210 百万円	7,923 百万円

〈関連する計画〉 #産業振興計画

※DMO (ディーエムオー) … 観光地域づくり法人。地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに、地域への誇りと愛着を醸成する地域経営の視点に立った観光地域づくりの司令塔として、多様な関係者と協働しながら、明確なコンセプトに基づいた観光地域づくりを実現するための戦略を策定するとともに、戦略を着実に実施するための調整機能を備えた法人のこと。



▶ 島民が主体となり、島外の力も加えて活動する、持続可能で住み続けられる

現状

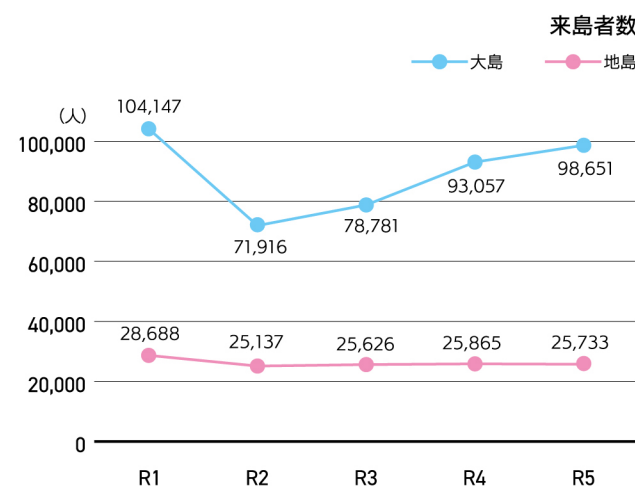


- ▶ 来島者数は、新型コロナウイルスの影響により減少したものの、民間レジャー施設の誘致をきっかけとした新たな需要を獲得する機会を迎えています。また、事業者によるイベントの協力、開催、商品開発など、島外の力による活性化の動きも出てきています。
- ▶ 島と本土をつなぐ交通手段として市営渡船を運航しています。また、大島島内では市営の観光バス、民間によるレンタカーやタクシーが運行しています。
- ▶ 島の基幹産業である水産業の低迷により、島内での就業機会の減少がある一方で、観光客をターゲットとした宿泊業や飲食店などの開業が増えています。
- ▶ 若い世代の島外流出、人口減少、高齢化率の上昇が続いています。またそれに伴い、空き家も増加しています。

課題



- ▶ 交流人口増に向け、島の魅力を活かした観光メニューの開発や情報発信が必要です。また、交流をきっかけとした関係人口、移住者増が島の活性化につながり、交流・関係人口増につながる好循環を生み出す必要があります。
- ▶ 持続可能な公共交通の実現に向け、最適な交通手段の検討、渡船の航路再編や各種移動サービスとの連携など効率的な交通ネットワークを構築する必要があります。
- ▶ 島内産業の振興に加え、島の魅力を活かした起業や企業誘致、民間活力を活かした事業の検討など、雇用の場を確保する必要があります。
- ▶ 老朽化などにより活用できる空き家は少なく、移住希望者に提供できる住居の確保が難しい状況です。斡旋体制の整備をはじめ住居確保に関する対応を進める必要があります。



主な取り組み

- 島内産業の振興
- 地域資源を活かした観光の振興
- 島民、島外住民、事業者などとの連携促進
- 関係人口、移住者増に向けた取り組み
- 離島航路の維持と島内交通手段の確保



地域と連携したダンジクを使った肥料開発の実証



地島椿まつり



成果指標 (KPI)

指標名	現状	中間目標 (R11 年度)	最終目標 (R16 年度)
来島者数	98,000 人	110,000 人	120,000 人
島内における創業者数 (累計)	0 人	5 人	10 人

〈関連する計画〉 #産業振興計画 #離島振興計画